

令和4年度第3回 うべ未来モニターアンケート集計結果

1 アンケートのテーマ

『学校の規模や配置に関するアンケート調査』

- (1) 実施期間 令和4年6月24日（金）～7月10日（日）まで
(2) 担当部署 教育総務課

2 モニター数・アンケート回答者数

- (1) メール・郵送文書到達モニター数 868 人
(2) 回答者数（回答率） 401 人（46.2 %）

3 回答者の属性

※ 端数処理のため比率の合計が100%にならない場合があります。

【年代】

項目	回答者数	比率	グラフ
10歳代	2 人	0.5 %	
20歳代	3 人	0.7 %	
30歳代	34 人	8.5 %	
40歳代	67 人	16.7 %	
50歳代	76 人	19.0 %	
60歳代	88 人	21.9 %	
70歳代	120 人	29.9 %	
80歳代	11 人	2.7 %	

401 人



ご協力、ありがとうございました。

【居住校区】

項目	回答者数	比率	グラフ
東岐波	24 人	6.0 %	
西岐波	29 人	7.2 %	
恩田	46 人	11.5 %	
岬	13 人	3.2 %	
見初	10 人	2.5 %	
上宇部	30 人	7.5 %	
神原	16 人	4.0 %	
琴芝	25 人	6.2 %	
新川	19 人	4.7 %	
鵜の島	11 人	2.7 %	
藤山	15 人	3.7 %	
原	9 人	2.2 %	
厚東	5 人	1.2 %	
二俣瀬	9 人	2.2 %	
小野	12 人	3.0 %	
小羽山	13 人	3.2 %	
常盤	17 人	4.2 %	
川上	14 人	3.5 %	
厚南	13 人	3.2 %	
西宇部	27 人	6.7 %	
黒石	13 人	3.2 %	
船木	8 人	2.0 %	
万倉	8 人	2.0 %	
吉部	8 人	2.0 %	
在学・在勤	7 人	1.7 %	

N=401

【性別】

項目	回答者数	比率	グラフ
女性	195 人	48.6 %	
男性	206 人	51.4 %	

N=401

4 回答集計

- ※ 比率は、各設問の回答対象数（N）に対する割合を示しています。
- ※ 単数回答であっても、端数処理のため比率の合計が100%にならない場合があります。

『学校の規模や配置に関するアンケート調査』

担当部署 教育総務課

アンケートの趣旨

全国的に人口減少や少子高齢化が進展する中、本市の人口も、年間約1,400人減少しており、今後も継続的に減少していくことが見込まれます。

この人口減少が特に顕著に表れているのは、若い世代で、本市の児童生徒数においてもピーク時（昭和58年）の24,343人と比べると令和3年には、11,560人と半数を割る状況となっています。

このような状況にある中、宇部市教育委員会では本年3月に「「自立」と「共存同栄」宇部を愛し、未来を拓くひとづくり」を基本理念とした、第2期宇部市教育振興基本計画を策定しました。

この理念は、変化の激しい社会を生き抜くため、自らが主体的に社会にかかわりあい、向上心をもって学び、自らを磨き上げていく「自立」の心とともに、多様な一人ひとりが互いの人格を尊重し、支えあい、互いに高めあっていく「共存同栄」の精神（こころ）で未来を切り拓いていく人材を育成していくことを目指すものです。

教育委員会では、この理念のもと、人口減少の中にあっても、子どもたちが安心・安全に過ごせる質の高い教育環境を今後とも確保していくために、小中学校の適正な学校規模や配置について、皆様方の考えをお聞きしながら、検討を進めていきたいと考えています。

ご自身のこれまでの人生経験をもとに、未来に思いをはせ、次代を担う子どもたちにとって最適な教育環境についてのお考えをお聞かせくださいますよう、よろしくお願いします。

【問1】あなたは、小学校の1学級の児童数としては、何人くらいが望ましいと思いますか。
あてはまるものをお選びください。（山口県では現在35人を上限としています。）

項目	回答者数	比率	グラフ
1 10人以下	4人	1.0 %	
2 11～15人	10人	2.5 %	
3 16～20人	48人	12.0 %	
4 21～25人	132人	32.9 %	
5 26～30人	144人	35.9 %	
6 31～35人	42人	10.5 %	
7 36人以上	11人	2.7 %	
8 その他（ ）	10人	2.5 %	
8 その他（ ）			
・統制が取れるなら50人でも100人でも良いが、少な過ぎるのは効率や集団教育の観点から避けたい。 ・1～2年生は20人以下、3年生から6年生は30人以下。 ・適正人数は私にはわかりません。私が学生の頃は45人だったと思いますが、先生や皆とも仲良くできていたと思います。今の先生達の意見で決めれば良いと思います。 ・35人以下であれば良いと思います。 ・生徒の数と対応できる先生の数の関係があると思われるので答えられない。クラス人数が多い方が、友達が多くできてよいこともある。 ・実情を知らないのだからわからないが、少なければ良いとは限らない。			

N=401

【問2】小学校の1学年の学級の構成としてはどれくらいが適切だと思いますか。
子どもたちの教育環境として望ましいと思うものをお選びください。（国においては、
小学校の1つの学年は1学年あたり2～3学級を標準としています。）

項目	回答者数	比率	グラフ
1 複式学級（異なる学年が同じ学級に所属する形）	18人	4.5 %	
2 1学級	18人	4.5 %	
3 2～3学級	304人	75.8 %	
4 4学級以上	45人	11.2 %	
5 その他（ ）	16人	4.0 %	
5 その他（ ）			
・3～4学級 ・人口の多い地区と少ない地区で、その対応を考えてはどうか。 ・分かりません。国が示した標準は何が根拠なのでしょう？ ・地域状況等があるので、一元化は無理。 ・2学級 ・1学年の人数によって学級数を決めれば良いと思う。 ・3学級以上 ・数で制限するのではなく、地域の実状によると考えています。 ・総数によるのでわからない。 ・1クラスの人数は重要だと思うけど、学級数は何クラスでも良いと思う。			

N=401

**【問3】 小学校の規模を考えるうえで、あなたが大切だと思う点をお答えください。
(3つ以内に○)**

項目	回答者数	比率	グラフ
1 きめ細やかな教育が受けられる	211 人	18.9 %	
2 学校行事で一人ひとりが活躍できる	94 人	8.4 %	
3 異なる学年同士が交流する機会が多い	115 人	10.3 %	
4 クラス替えができる	169 人	15.2 %	
5 クラス同士で切磋琢磨できる	57 人	5.1 %	
6 大勢で様々な活動ができる	72 人	6.5 %	
7 多様な考えに触れる機会が多い	169 人	15.2 %	
8 家庭的な雰囲気の中で勉強ができる	20 人	1.8 %	
9 多様な学習形態の授業が受けられる	116 人	10.4 %	
10 地域との連携が深まる	85 人	7.6 %	
11 その他 ()	7 人	0.6 %	
11 その他 ()			
・教員の負担軽減 ・1人1人に応じた教育ができるのが理想とは思いますが、集団で社会性を学ぶ環境も必要だと考えています。また、多様な考えや経験を積む上でも、地域も巻き込んだ様々な行事も必要だと考えています。 ・STEAM教育 ※STEAM教育とは、科学（Science）、技術（Technology）、工学（Engineering）、アート（Art）、数学（Mathematics）の5つの領域を対象とした理数教育に創造性教育を加えた教育理念のこと。 ・ネイティブによる英語教育、パソコン教育、地域の歴史教育			

N=1,115

**【問4】 あなたは、中学校の1学級の生徒数としては、何人くらいが望ましいと思いますか。
あてはまるものをお選びください。（山口県では現在35人を上限としています。）**

項目	回答者数	比率	グラフ
1 10人以下	3 人	0.7 %	
2 11～15人	6 人	1.5 %	
3 16～20人	41 人	10.2 %	
4 21～25人	86 人	21.4 %	
5 26～30人	165 人	41.1 %	
6 31～35人	80 人	20.0 %	
7 36人以上	10 人	2.5 %	
8 その他 ()	10 人	2.5 %	
8 その他 ()			
・机上で定められた人数ありきではないと考えています。子ども達の状況や先生方の考え、力量もあるのだと思っています。 ・35人以下であれば良いと思います。 ・1クラスの人数は重要だと思うけど、学級数は何クラスでも良いと思う。			

N=401

【問5】中学校の1学年の学級の構成としては、どれくらいが適切だと思いますか。

子どもたちの教育環境として望ましいと思うものをお選びください。

(国においては、中学校の1つの学年は1学年あたり4～6学級を標準としています。)

項目	回答者数	比率	グラフ
1 複式学級（異なる学年が同じ学級に所属する形）	9 人	2.2 %	
2 1学級	6 人	1.5 %	
3 2～3学級	143 人	35.7 %	
4 4～5学級	213 人	53.1 %	
5 6学級以上	18 人	4.5 %	
6 その他（ ）	12 人	3.0 %	
6 その他（ ）			
・地区の学生数による。小中一貫校にできる地区が、これからできると思う。 ・分かりません。問2と同じ。 ・一学級の人数による ・3学級以上 ・通学の負担も含めた地域の実状によるものだと思っています。 ・総数によるのでわからない。 ・1クラスの人数は重要だと思うけど、学級数は何クラスでもいいと思う。			

N=401

【問6】中学校の規模を考えるうえで、あなたが大切だと思う点をお答えください。

(3つ以内に○)

項目	回答者数	比率	グラフ
1 きめ細やかな教育が受けられる	180 人	15.8 %	
2 学校行事で一人ひとりが活躍できる	85 人	7.5 %	
3 異なる学年同士が交流する機会が多い	73 人	6.4 %	
4 クラス替えができる	154 人	13.5 %	
5 クラス同士で切磋琢磨できる	105 人	9.2 %	
6 大勢で様々な活動ができる	100 人	8.8 %	
7 多様な考えに触れる機会が多い	219 人	19.2 %	
8 家庭的な雰囲気の中で勉強ができる	5 人	0.4 %	
9 多様な学習形態の授業が受けられる	155 人	13.6 %	
10 地域との連携が深まる	59 人	5.2 %	
11 その他（ ）	3 人	0.3 %	
11 その他（ ）			
・問3回答と同じ。子どもたちに何をしてもらいたくて、どんな大人になってほしいから、何を経験しておいてほしいと願うか、実際にどこまで応えられるのかだと思います。 ・STEAM教育			

N=1,138

【問7】国は「児童生徒の教育の充実のためには、一定の集団規模が確保されていることが望ましい」としていますが、児童生徒数が少ない小規模校の対応として、どの方法が適当だと考えますか。（2つ以内に○）

項目	回答者数	比率	グラフ
1 通学区域を変更する（隣接する大規模校の通学区域の一部を小規模校へ変更するなど）	197 人	34.3 %	
2 他校との交流や連携を深める（I C Tを活用した遠隔授業など）	171 人	29.7 %	
3 近隣の学校の分校にする	17 人	3.0 %	
4 近隣の学校と統合する	174 人	30.3 %	
5 その他（ ）	16 人	2.8 %	
5 その他（ ）			
・小中一貫校にする。 ・小学校入学時の選択制の廃止、または、中学校でも選択にしたら却下 ・現実的には登下校の仕方など難しいと感じる。 ・通学区域の見直しする。 ・1の学区変更や4の統合は、教員数の確保などコストメリットもあると思う。しかし、地域による事情（保護者の負担や通学距離の負担）があると思うので、2を最優先で検討すべき。 ・子どもたちに何が一番良いのかはわかりませんが、いつかは校区の見直しは必要だとは考えています。学校と地域との繋がりを考えると難しいとも思いますが、必要ならば常に新しい形に見直していく必要はあるものと考えて。 ・スクールバスを出し、近隣の学校と統合 ・通学区域の変更、近隣の学校と統合 ・遠距離の生徒のためにスクールバスを運用する。 ・近隣の小規模学校同士を統合してスクールバス化、校舎は道の駅や研究施設などに再利用して社会学習に活用する。 ・送迎バスの積極的活用、自由な学区選択を可能にする（大規模校から小規模校のみ）。 ・年に数回、一緒に活動する機会をつくる。			

N=575

【問8】小中学校の配置の見直しを進めるうえで、特に重視すべき点は何ですか。子どもたちにとって最適な教育環境を維持するという観点からお答えください。

項目	回答者数	比率	グラフ
1 児童生徒数や学級数	107 人	26.7 %	
2 通学距離・通学時間	108 人	26.9 %	
3 通学の安全性	73 人	18.2 %	
4 学校施設の充実・安全性	55 人	13.7 %	
5 学校と地域のつながり	51 人	12.7 %	
6 その他（ ）	7 人	1.7 %	
6 その他（ ）			
・スクールバスの利用。バス停からバス停の利用はよいが、自宅から学校には疑問を感じる。スクールバスのない学校は、帰り道の楽しさがあると思う。 ・いずれも一様に重視すべき点と考える。子どもたちが、安心安全かつ多くの体験（人との関わり）を得られるようにしてほしい。 ・先生と生徒のつながり。生徒へのきめ細かい視線を持ち、先生への信頼感を回復する。 ・施設の充実は重要と考えていますが、そのための統廃合(集中)と考えると、学校施設は防災(避難所)や体育館開放等における地域の繋がりを生み育む場にもなっています。 ・教師のクオリティが最重要問題ですよ。毒になる先生は、解雇にする仕掛けが必要。忘れていませんか？			

N=401

【問9】子どもたちに最適な教育環境を提供するための、学校の規模や配置について、ご意見があればお聞かせください。

自由記入の内容
別紙

担当部署による総括
回答率 46.2%で 401 人の方にご回答いただき、学校の規模や配置について、多くの方が関心を寄せられていることを実感しました。小中学校ともに、学校の規模を考えるうえで大切だと思ふ点として「きめ細やかな教育が受けられる」「クラス替えができる」「多様な考えに触れる機会が多い」が多くの割合を占めており、一人ひとりに応じた教育とともに、集団で社会性を学ぶ場が必要と考えておられることがわかりました。また、1 学年の学級構成として、小学校では「2～3 学級」が 75.8%、中学校では「4～5 学級」が 53.1%と高い割合となる一方、その他の意見では「地域の実情による」と答えられた方もあることから、今後、適正規模基準を定めていく際には、地域の実情を勘案しながら進めていく必要があると改めて感じました。小規模校の対応としては「通学区域を変更する」「他校との交流や連携を深める」「近隣の学校と統合する」が同程度の割合があり、その他の意見として、「小中一貫校にする」「必要ならば常に新しい形に見直していく必要はある」などの貴重なご意見も多くいただきました。本市では、「宇部市立小中学校適正規模・適正配置計画（仮称）」を策定するため、現在、宇部市立小中学校適正規模・適正配置審議会で学校の規模や配置などについて調査・検討を進めているところですが、この度いただいたご意見を参考とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

【問9】子どもたちに最適な教育環境を提供するための、学校の規模や配置について、ご意見があればお聞かせください。

分類	性別	年代	内容
1.統廃合	70代	男	児童数を適合するために統廃合が必要。遠隔通学のための無料マイクロバスを計画して走らせる。運転手確保については、仕事を引退した高齢者の活用。
1.統廃合	80代	男	北部3校は、この数年でどんどん減っている。このままでもいいのかよくわからないが、統合するなら今のうちにやった方がいいと思う。 地区の人々の学校に対して無感心であること。これから皆でどうするか考える人を見つけることもできてない。
1.統廃合	70代	男	小学校については、「地域があつての学校、学校があつての地域」の考え方で。小学校は現状の設置でよい。
1.統廃合	70代	男	学校と地域のつながり、環境を重視する必要がある。
1.統廃合	70代	男	現状の規模配置でよい(岬小)。
1.統廃合	80代	男	西宇部小は最適です。
1.統廃合	60代	男	学校の統合及び小中一貫校にする。子ども中心に協力しあう。一方通行はダメ。
1.統廃合	60代	男	上宇部地区は、小学校・中学校共に地域との交流が盛んで、現在良い状態にあると思います。これからどんどん小子化が進みクラスが少なくなるかもしれませんが、なるべく今の状態で維持できればと思います。
1.統廃合	60代	女	難しい問題ですが、小規模学校を二つ維持するよりは、近ければ合併して一つに統合した方が、教育面では生徒の為になると思う。
1.統廃合	50代	男	自分の地域しか考えない大人のエゴによらない適正配置を願う。
1.統廃合	50代	女	隣同士の学校で生徒が少なくなってるにも関わらず、統合しないのもどうかと思います。我が母校がなくなるのは嫌だとか言ってる場合ではないと思います。
1.統廃合	40代	女	神原・琴芝のように小学校が近すぎたり、1学年1クラスしかない学校が多い。少子化だし統合すればいいと思う。
1.統廃合	70代	男	生まれた地区で、両親も体験した学校伝統の教育を受ける事が望ましいが、中学から統合される様な小規模の学校であれば、小学校の統合もやむを得ないと思います。

【問9】子どもたちに最適な教育環境を提供するための、学校の規模や配置について、ご意見があればお聞かせください。

分類	性別	年代	内容
1.統廃合	60代	女	子どもも大人も少なくなっているのに、隣接する小規模校が多数あることは、経済的によくないと思います。どこで学んでも、子どもたちにとっては大切な義務教育です。大人の縄張り意識を捨てて、宇部市全体で教育環境を考え、子どもたちの学習の質を最大限高めるための選択をしてほしいと思います。
1.統廃合	70代	女	あまり少人数だと、学校として成り立たなくなるが、特に小学校は、通学距離が長くなるのは問題がある。通学距離の問題がなければ、統合を考えてもいいと思う。
1.統廃合	70代	男	東岐波に居住する私は、小中校一貫であり、良い思い出しかありませんので推奨します。地域の人々に顔を覚えてもらえて安全面も確保できます。
1.統廃合	70代	男	教育効果を高めるためには、一クラスの生徒児童数と学級数は一定の規模が必要である。しかし、宇部市の現状をみると、少人数のクラスや複式授業を進めざるを得ない学校が存在する。地域の住民の意見を尊重するあまり、特に隣接した学校や小規模校の小学校の統廃合が進んでいない（琴芝と神原小、見初と岬、新川と鶴の島、北部各校など）。今後、さらに少子化が加速する環境の中で、思い切った施策を要望する。統合によるメリットがデメリットを上回ることについて（教育面だけでなく財政面の観点から）、市民全体で合意形成を取っていくことが重要である。
1.統廃合	50代	女	今回のアンケートで、少子化が進む事や生活の多様化で、学校運営がこれから益々大変になってくるんだろうと感じました。早めの対策が必要ですね。

【問9】子どもたちに最適な教育環境を提供するための、学校の規模や配置について、ご意見があればお聞かせください。

分類	性別	年代	内容
1.統廃合	70代	男	6、3制を見直し、小中学校生活の中で統合された教育が望ましい。 私たちの地域では、私立中学校への進学が多く、公立中学校へ進学した子との交流が希薄になることが多いと聞いている。公立中学校へ進学した子どもたちは、地域でのボランティアにも積極的に参加できるように地域と学校が連携しているが、私立へ進学した子は地域活動とはほぼ無縁になっているように見受けられる。 地域の中学校へ進学することへの様々な問題があると思いますが、地域と一体になって学校評価や学力向上につながるように取り組んでいきたいと思います。
1.統廃合	70代	男	学校の規模によって教育環境が違ってはならないと思います。しかし、合併等については、地域の意見等を重視して慎重に検討願います。
1.統廃合	50代	女	複式学級経験者から話を聞いたことがあるので、複式学級にするくらいなら学校を統合したほうが良いと思う。その場合は、専用バスを付けて通学等で使用する。また、箱物ばかり造るのではなく、今ある学校をできるだけ使用することを考える。 ゲストティーチャー制等で地域のつながりを大切にして、教師だけでは補いきれない専門家に授業をしてもらおうと子ども達も気分が変わって楽しいし、先生の負担軽減にもつながると思う。 小中が合同でできる授業も考えてほしい。 子どもたちの安全を考えると、もっと地域の人たちが小中学校へ入る機会をつくるといいのでは。近所の人目があれば、通学時の安全につながると思う。
1.統廃合	60代	女	都市部での少人数学校の場合は統合もいいが、神原・琴芝のような難しい学校の場合、どちらの学校も使ったの合同授業などから始め、徐々に統合に向けていく方向がいいのではないかと思います。新川、鵜の島も同じく統合を考える時期に来ている気がします。

【問9】子どもたちに最適な教育環境を提供するための、学校の規模や配置について、ご意見があればお聞かせください。

分類	性別	年代	内容
1.統廃合	50代	女	神原・岬・見初・琴芝・恩田、このあたりの生徒数の偏りや位置は明らかにおかしい。神原小と琴芝小はどちらか1校に統合しても、通学距離もほぼ変わらないだろうに…。岬校区のあたりに中学校があってもいいと思う。
1.統廃合	50代	男	私は、学校とは(生きるための)知識を得る場、社会性を身に付ける場、勉強の仕方を学ぶ場、地域の人々を繋げる場と考えており、そのためには地域や多世代の人、様々な経験を有する人からの協力も地域の財産・地域性の1つとして得るべきだと考えています。しかし、その時の状況により、子ども達にしてあげられる事のばらつきやまとめる担当者の負担も多くなるものとも考えられます。また、学校と地域との顔の見える関係の構築も必要となります。いずれにおいても、学校と地域、市、教育委員会などで話をしながら、子ども達の将来像(社会を創る大人像)について、どうしたら良いか話していくべきだと考えてます。
1.統廃合	40代	女	1クラス、2クラスの学校が多すぎる。琴芝小と神原小はすぐ近くにあり無駄だと思う。
1.統廃合	40代	女	神原小学校と琴芝小学校は近すぎるので、児童数が減っているなら、統合できると思います。
1.統廃合	50代	男	小学校の統廃合は、地域の衰退を招く恐れがあるように思われます。また、中学校に関しては、将来社会に出てからのコミュニケーション能力をつける為にも、少人数より、ある程度は人数を確保するため、近隣の地区との統合もいいのではないのでしょうか。
1.統廃合	60代	女	宇部市中心部に在住してます。大変近い距離に隣接している小学校は、このまま少子化が進む中、今の状態で良いのかと疑問に思います。一学年一クラスしか無く、生徒数十数人のうち 男子15人女子3人で小学校6年間クラス替えなく成長するとは、子どもにとってふさわしいのかと考えさせられます。統合してクラス数を増やすべきだと自分の子育て経験から感じます。
1.統廃合	70代	男	一定数以上の児童生徒数が必要だと思いますので、統合、通学域変更はやむを得ないと思います。

【問9】子どもたちに最適な教育環境を提供するための、学校の規模や配置について、ご意見があればお聞かせください。

分類	性別	年代	内容
1.統廃合	70代	男	現在住んでいる上宇部地区では、学校の規模や配置は希望が満たされていると思う。
1.統廃合	70代	男	少子化、一人っ子の増加で難しいと思うが、子ども同士が、支えあう、理解しあう習慣ができるような規模や配置が望ましいと思う。
1.統廃合	60代	女	子どもたちが集団生活を送り、切磋琢磨するためには、ある程度の生徒数の確保が必要と思う。そのためには、学校の統廃合は致し方ないと思う。
1.統廃合	70代	女	神原小学校と琴芝小学校は、無駄遣いとは思えない。歴史もプライドも全部ご破算にして、児童数や通学路などの根拠に基づいた再構築をすれば、同じコストでも無駄ではなく有効に使える。卒業生などの為ではなく、これからの児童の為です。
1.統廃合	30代	男	統廃合等については、現役親世代より地域のお年寄りの方々の意見のみが通るようになってきている。責任もとらない第3者が、現役親世代の意見を見捨てて進めることに疑問を持っています。思い出や自分の住んでいる地域を大きく変えたくないのはわかりますが、感情だけで迷惑をかけないでほしいです。また、市職員の対応も、OBや天下り先に頭があがらず、不十分な説明で、協力し良くしたいという姿勢が感じられません。
1.統廃合	60代	男	統合いいですね。
1.統廃合	40代	男	集団生活の大切さを学ぶためには、統合もやむを得ない。
1.統廃合	50代	男	小学校については、小規模となってもできるだけ統合しない方がよいと思います(複式学級となったとしても)。 中学校は、ある程度の人数規模で学習することの価値もあると思いますので、統合もやむを得ないと感じています。物理的な距離制約をできるだけ緩和することが、行政側には求められると考えます。
1.統廃合	60代	男	神原と琴芝は学校が非常に近いので、統合を検討したらどうでしょう。また、山間部も統合できるところがあると思います。ある学校では、生徒数よりも教職員の方が人数が多いと聞くが本当でしょうか。今のご時世、教育現場も改革しなければ。

【問9】子どもたちに最適な教育環境を提供するための、学校の規模や配置について、ご意見があればお聞かせください。

分類	性別	年代	内容
1.統廃合	30代	女	子どもが減っているので、スクールバスを利用して統合を進めたほうがよいと思います。中学校に進学してから、少ない小学校の生徒は打ち解けられるか親としては心配です。
1.統廃合	40代	女	規模や配置は正直よくわかりません。それよりも、教職員の質、スキルの向上が大切だと思います。
1.統廃合	40代	女	以前から神原小と見初小の統合の話があったが、それなら琴芝小と3校が統合するべきだと思う。 登下校で学校から家が遠い子等の不安や中一ギャップの問題をずっと解決しておらず、宇部市も小中一貫校を作って不安を解消したりするべきだと思う。
2.児童数	30代	男	ただの座学のみであればオンラインで良いと思うが、特に初等教育では休憩時間等の生徒同士のコミュニケーションだと思う。一方で、あまりコミュニティに入り込み過ぎると、その閉ざされたコミュニティでの評価が最重要と考えがちになるため、クラス替え等は非常に重要だと思う。 むしろ、先生側の対応の方が問題かもしれないが、せっかくオンラインが普及したので、国内や国外の姉妹都市の学校同士をオンラインで繋ぎ、国際的なバランス感覚も磨けるような教育を取り入れながら進めてほしい。
2.児童数	70代	男	宇部市内においても、人口が増加している地域と減少している地域とがあり、学級人数にも大きな差が出ている。授業内容・集団活動等にも影響が出ている。また、いじめ対応についても、クラス替えができる学校とずっと一緒の学校があり、対応も違っている。少人数の良いところと悪い所が表裏一体となって、難しい問題ではある。 現在の通信技術の発達に伴い、田舎であろうと都会であろうと格差は無くなってきていると思う。ICT技術の有効活用により、学校間の格差を是正し、教育環境を整えていくことを希望します。

【問9】子どもたちに最適な教育環境を提供するための、学校の規模や配置について、ご意見があればお聞かせください。

分類	性別	年代	内容
2.児童数	70代	男	東岐波地区も一時より子どもが減少しており増加が見られない。ふるさと運動実行委員会が、地区の子ども達に行事を40年近く続けているが、増加に結びつく結果が出てない。昭和50年代は、中学生の地区リーダーが子ども達の連携をとり、それにふるさと運動実行委員会と一緒に活動していた（参考：すずめの学校）。
2.児童数	70代	女	適切な生徒数は必要であり、そのために距離、時間、安全を考えて、通学バス等も考えることも必要になると思う。
2.児童数	60代	女	多数の中から切磋琢磨してほしい。小人数だと井の中の…。もう少し成長するためにも、北部小中のあり方を考えてほしい。
2.児童数	70代	男	団塊の世代に育った。見初小は5組、神原中は24組あり、体育館が教室で、1組50人以上の時代であった。今は人数が少なくて悩む時代に入った。大人数でもそれなりにやって来て今がある。世の中も人の考えも変わってきている。今一度原点にもどって考えてほしい。教育者はもっと自信を持って、活躍を祈る！世の中に振りまわされないように！
2.児童数	70代	男	1学級の児童・生徒数、1学年の学級数の大小により、教育効果に差が少じるものなのでしょうか。差があれば、最も効果がある数値を適正として採用すべきではないのでしょうか。学校施設や教職員の配置等、財政面も考える必要がありますが。
2.児童数	70代	女	戦後のベビーブームで育った者として、今の生徒数の減少、先生の減少など基本的な問題を解決せず、この様な後追いのアンケートは愚の骨頂と思います。
2.児童数	60代	女	規模は、小中学校どちらも1学年3クラス以上あってほしい。クラスの人数は、小学校よりも中学校の方で生徒数を少なくして、先生の指導が行き届くことが必要だと思う。また、児童数、生徒数の減少する地域では、学校を統合すべきだと思う。場合によっては、通学バスなどを導入しても良いと思う。

【問9】子どもたちに最適な教育環境を提供するための、学校の規模や配置について、ご意見があればお聞かせください。

分類	性別	年代	内容
2.児童数	60代	女	小規模校は小規模の良い点があると思うが、やはりある程度の児童生徒数が良いと考えます（人間関係など学ぶには）。現在選択地区で通学している生徒達の登下校における安全面がなかなか難しいとの話を聞きますので、できれば学校配置についても少し考えることが必要なのかと思います。
2.児童数	70代	男	規模については、多くの人と出会えて、学習面でも切磋琢磨できる環境が必要であると考え、各学年で4クラス以上が望ましいと思います。学校の配置については、先の条件を満たすことが第一条件で、その他として安全性を確保するため、通学距離、通学時間に配慮する必要があると思います。
2.児童数	60代	男	他市でIT支援員をしています。小中学校で授業の支援を行っており、主にクローンブックを教えています。教える側から考えると、子どもたちのITに関しては、取りこぼしのないように小学1年生の最初からきめ細かなサポートが大事です。また、教員のレベルにも大きな差が見受けられます。授業の準備も大切です。これらのことから、一クラスの人数は、10から15人程度が理想と思われます。子どもたちの進捗状況や反応は楽しいです。ぜひご参考にしてください。
2.児童数	50代	男	何事にも多くの経験が必要だと思います。経験数を増やすことで、つながることが増えると思います。そのためには、ある程度の母数は必要ですし、他地域・多文化のコラボが、新たなことを見出すチャンスだと思います。
2.児童数	60代	女	少数で行き届いた教育を受けることができるのが理想ですが、少人数だとクラス替えなどがしづらく、上下関係やいじめをリセットをする機会が少なくなると思います。閉鎖的にならず、色々な人との出会い等、別の機会をつくる必要があると思います。

【問9】子どもたちに最適な教育環境を提供するための、学校の規模や配置について、ご意見があればお聞かせください。

分類	性別	年代	内容
2.児童数	60代	男	小規模校でしか学べない児童がいるのも現実ではないでしょうか。校区を全市にして、ICTを活用して、小規模校の存続も丁寧に議論を重ねて頂きたいと思います。
2.児童数	30代	女	ある程度規模がある方が、沢山の人と接する機会が増え、人間関係を作るうえで良いと思う。
2.児童数	70代	女	大勢の中で切磋琢磨できる環境で学校生活を送れる事が望ましいと思いますが、その為に統廃合して、通学に時間がかかったり、安全が脅かされる事は避けるべきだと思います。その場合は、小規模校ができる事はやむ無しではないかとも思います。
2.児童数	30代	女	人数が少ないと、人間関係がうまくいかなかった時に逃げ場がない。先生の数も多い方が安心します。ある程度、融通がきく人数を確保してほしいと思います。
2.児童数	70代	男	スクールバスなどを使い、ある程度の規模を確保すべきだと思います。集団生活が大切。
2.児童数	20代	女	宇部市の児童生徒数が大幅に減少している中、学校、地域の再編は早急に取り組むべき課題です。
2.児童数	80代	女	学級の定数を少なくし、一学級の教員定数を増やし、きめ細かい指導に力を入れてほしい。
2.児童数	20代	男	少人数よりも、いろいろな人が集まるクラスのほうが、いろいろな個性の人を見ることができ、勉強になって良いと思う。今のままで良い。
2.児童数	70代	男	私は、団塊の世代1歩手前(S21生)で、中学校では、1組60人で18組という超マンモス校ですごした。何をしても競争であったように思う。友達も多く、それなりに楽しい中学生時代であったと思っている。クラス内の人数をむやみに多くする事はないと思うが、1学年のクラス数を少なくしない方が良いと思う。
2.児童数	80代	男	通学区域を変更して、適正な児童数・学級数にしていくことが必要かと思います。基本的に1学級30～35人、1学年3～4学級をベースにしたらいかがでしょうか？

【問9】子どもたちに最適な教育環境を提供するための、学校の規模や配置について、ご意見があればお聞かせください。

分類	性別	年代	内容
2.児童数	70代	男	学校でいじめ等が発生しない、させない規模も重視すべきだと思います。
2.児童数	60代	女	きめ細かな(目の行き届く)教育が当たり前になった今と私たちが育った頃、私たちが子育てをしていた頃とも比較できませんが、クラス替えができないほどの生徒数の学校や、運動会に保護者が駆り出される学校があると聞きます。学校の統廃合も随分前からささやかれていたのに、いつの間にか形を変えて新校舎に建て替わっているケースもあります。子どもの数も少なくなっているから、統廃合など積極的な見直しは必要と考えます。最低でも各学年が3クラス程度を標準とすべきではないでしょうか。
2.児童数	50代	女	ある程度人数で適当な位置にすると、登校の時の安全が気になるのでスクールバスも必要かと…。
2.児童数	60代	男	小学校は、少人数でも地域に残すことを基本としたい。中学校は、多くの生徒のなかで育つようされたい。
2.児童数	30代	女	25人程度の学級を希望です。現在、園児の子どもがやんちゃで、規模が小さめで目が届けば大丈夫そうですが、人が多いとついて行けそうにありません。多様な子を一人の先生が見るには、限界があると思います。少人数を希望します。
2.児童数	70代	男	学校の規模については、児童生徒が切磋琢磨し、自分の能力を高められる環境が必要であり、そのためには各学年で30人程度のクラスが5クラス程度は必要だと考えます。また、多感な生徒たちの気持ちを理解し、個々人の能力を生かすために、生徒を指導する先生方の感性と能力も不可欠と考えます。
2.児童数	50代	女	小学校で6年間一度もクラス替えができなかったり、中学校で部活動が成立しないといった、学校間の規模の格差を解消することは必要だと思うが、通学距離や通学時間も大事だと思います。

【問9】子どもたちに最適な教育環境を提供するための、学校の規模や配置について、ご意見があればお聞かせください。

分類	性別	年代	内容
2.児童数	70代	男	大規模校より小規模校のほうが、きめ細かい教育ができる。ークラス35人は多すぎる。特に中学校は、大人になるために大事な年齢ゆえ、悩み事に対応する体制が必要。人生経験豊かな人財が沢山いるので、地域の力を活用する。
2.児童数	40代	女	児童数の関係で、娘の学年は小学校の1年から3年まで35人MAXのクラスだったが、人数が多い。しかも、低学年で手がかかる時期は、隅々まで先生の目が行き届かず、学習面でも生活面でも大変だった。高学年になり、それなりに子どもたちが動ける様になるまでは、上限を30人程度にして細かい対応が必要かと思っています。中学校もクラス人数にバラツキがあり、31人のクラスもあれば、36人のクラスもあり、もう少し考えてもらえたらと感じた。
2.児童数	60代	女	ある程度の生徒数を確保し、運動会や文化祭などを大きな規模で開催できるようにする。しかし、貧困家庭のような家庭に学習する環境がない子や、親が学習に無理解な子も、高校に入学できる学力を身につけることができるように、きめ細やかな教育が受けられるよう、クラスは少人数にし、教師は1クラスに2人が望ましい。また、地域の人にも積極的に教育に関わってもらえるようにする。
2.児童数	60代	女	いじめ問題や学力の差などを考慮すると、クラス替えができずに、中学校卒業まで、ずっと良いことも悪いことも含めて上下関係が変わらない環境では、子どもたちのリスタートが難しいと思います。
2.児童数	40代	女	小学校によっては、1学年1クラスの学校も多いと聞く。中学に上がっていきなり2つの小学校から1つの中学校となり、中一ギャップに陥る子も少なくないと思う。できれば、小中一貫校を宇部市も作って頂きたい。生徒が少ない市の中心部の小学校は、統廃合という形を取るようにしないと生徒は減る一方であるし、郊外の小学校とのギャップにも繋がると思います。

【問9】子どもたちに最適な教育環境を提供するための、学校の規模や配置について、ご意見があればお聞かせください。

分類	性別	年代	内容
2.児童数	40代	男	海外では、10～16人程度の教室が多いように思う。例えば、私の住む二俣瀬小学校は全校でも20名程度だが、こういう小学校に特区として英語のネイティブ教師を常駐させるとか、パソコンのプログラミングの授業をやるなど、この学校ならではのプログラムを設けたうえで、行ってみたいという大規模校区の子どもたちには、例えば、試験的に厚南校区のみ可能など、シミュレーションをしてみて、送迎バスを検討するか、バス通学を検討してはどうかと思う。
2.児童数	60代	男	大規模校で馴染めない児童生徒の居場所作りとして、山間地区の小規模校を残せないか検討されたい。
2.児童数	40代	女	一学年80人前後3から4クラス、100人以内が先生・生徒・保護者がお互いを把握しやすく、PTA等の押し付けも緩和され、クラス内も目が届いて良いのではないかな。 しかし、マンモス校、小規模校それぞれに良い所もあり、通学の時間も問題だが、スクールバスを出し、全体的に規模の差がないよう統廃合も考えていくのがいいのでは。
2.児童数	40代	女	いろいろな人と関われるように、ある程度の規模は必要だと思う。
3.地域・校区	50代	男	今あるコミュニティスクールを充実し、継続していく。
3.地域・校区	70代	男	都市づくりとして、学校を中心に円を描くように周りを住宅地とし、その外を商業地域とするような都市計画が理想と考える。学校内には地域住民も自由に入れ、老人と子どもの互助が可能な街づくりができると良い。
3.地域・校区	70代	女	現状の校区割りは維持すべき。山間地域については統合もやむを得ませんが、複式学級も取り入れ維持すべきと考える。 計画性を持って対応してほしい。
3.地域・校区	70代	女	岬地区では、自転車で5～6分も走れば見初、恩田校区になります。年々新1年生が減少し、今年度は15名でした。統合や校区の変更、通学区域の一部を小規模校に変更することなど考えてくださると幸いです。

【問9】子どもたちに最適な教育環境を提供するための、学校の規模や配置について、ご意見があればお聞かせください。

分類	性別	年代	内容
3.地域・校区	70代	女	恩田小学校は地区のはずれに位置している。隣接している校区で自由に学校が選べるのは良いと思うが、恩田小は人気とこのことで人数が多い（問7に関連）。
3.地域・校区	70代	男	学校選択制の廃止、もしくは運用の見直し。
3.地域・校区	60代	女	10年位前から小中一貫、学校統合などの話が出てたのに、今はどうなってるのでしょうか？校区というのがネックになってたと思うのですが、今は地区に変更されたので、少しはやりやすいのでは？教育委員会がもっと動くべきだと思います。
3.地域・校区	70代	男	地域とつながりを持ち、将来も継続して地域に愛着を持ち続けることができるような環境であるのが望ましい。
3.地域・校区	70代	男	1.小学生は、地域とのつながりを重要と考えての教育及び体制づくりが必用。 2.中学生においては、集団での生活教育。一は一以上ではない、二は三は5～10倍になる等々、集団での教育。
3.地域・校区	50代	女	学校を核とした地域づくりということで、地域学校協働本部というのを置いていると思いますが、地域のことはコミュニティ推進協議会が中心となって動いているのですから、コミュニティと学校が手を取り合って活動していくべきと思います。
3.地域・校区	50代	男	多様な考えに触れながら、きめ細かな指導が受けられ、大人数だから可能になる様々な活動の機会を提供できる環境が大事です。そうするには、教員や支援員の確保、通学路の安全性など、問題が山積ではありますが、地域の協力を含め、全て子どもたちファーストで考えて頂きたいです。
3.地域・校区	60代	女	小学校から中学校までで、成長過程に応じた対応が必要だと思う。小学校時代には色々な事を体験してほしいので、地域に密着した学校であってほしい。中学校は、小学校で学んだ事をより発展・充実させる事ができるよう視野を広げていってほしいので、小学校より規模が大きくてほしいと思う。

【問9】子どもたちに最適な教育環境を提供するための、学校の規模や配置について、ご意見があればお聞かせください。

分類	性別	年代	内容
3.地域・校区	70代	男	今のような自由学区的な（好きな学校へ通える）ことは考えるべきではない。中学校は小学校2校を中学校1校とするのが良い。
3.地域・校区	80代	男	他の学校と違う特徴をそれぞれの学校で何か一つ持ってもらいたい。
3.地域・校区	70代	男	学校間の規模(児童・生徒数や学級数など)に格差が生じないように「校区」を調整する。
3.地域・校区	40代	女	同じ地区にいながら違う小学校に行くという現状は良くないと思います。選択ではなく地区別に行く学校を決めた方が良くと思います。
3.地域・校区	50代	女	地域が協力する体制づくり。教員だけが、その世界観だけで指導すると偏りが出る。教員自身のスキルアップにもつながる。視野が狭い教員が団塊世代に多い。
3.地域・校区	30代	女	今、私の子どもは琴芝小学校に通学していますが、琴芝校区内に神原小学校と琴芝小学校を選択できる区域が一部あり、その区域に住まれている方はほとんどの方が神原小学校に進学されているようです。神原小学校に行けば、そのまま近場の神原中学校に進学できるという理由が多いようです。琴芝小学校に進学すると、近い神原中学校ではなく、9割以上の子が遠い上宇部中学校に進学することになります。 そして、私の家の自治会は選択ではなく、中学校は常盤中学校と決まっています。琴芝小学校から常盤中学校に行くのは、1学年に2、3人いるかどうかです。心細く、イジメ等に繋がらないかも心配です。その辺りの配慮をしてほしいです。
3.地域・校区	60代	女	今の時代、親同士のふれあい、子ども会、PTAが何であったのか考えさせられる。子どもが少ないからと遠くに通って行くのも大変です。うちの子どもの時は、まだ良かったと思います。子どもたち多くて、地域で育つのがいいとは思いますが。
3.地域・校区	70代	女	地区別に通学区域を括ると、不便な事もある。
3.地域・校区	50代	男	校区で決める。

【問9】子どもたちに最適な教育環境を提供するための、学校の規模や配置について、ご意見があればお聞かせください。

分類	性別	年代	内容
3.地域・校区	50代	女	安全性も大切ですが、学校を【閉ざされた空間】にしないことも大切だと思います。空き教室などに地域の方々の集まる場所などを設置して、いろいろな方の目や手が行き届く空間になるといいですね。
3.地域・校区	60代	男	校区の歴史にこだわらず、適正な規模や通学距離になるように柔軟な対応をしてください。
3.地域・校区	40代	女	配置的なもので、今の学校に不満はないです。
3.地域・校区	40代	男	学校が地域の拠点として存在しているので、安易に統廃合を行うのは望ましくない。人数が多い学校、少ない学校がありますが、少人数で学ばせたいと考える親もいると思うので。通学等を保護者の責任において可能なのであれば、もっと市街地からも流動的に選択できるようにできるといいと思います。また、北部はバス停までの距離があり、人数も少ないので、子どもだけでは危険な為、実際には自家用車で送らないといけない地域もあり、何らかの救済措置を整備してほしい。
3.地域・校区	30代	女	住んでいる地区だけでなく、通学する学校を少しは選択できるようにしてほしい。
4.通学	70代	女	小学校については、児童の年齢が低いこともあり、通学の安全性を考えると、小規模校があっても、他校と交流をしながら見識を広めていけば良いと思う。中学校については、生徒一人一人の学力を向上させていく為の施策を第一に考えてほしい。中学校の規模については、あまり生徒数の差が大きくならないよう配慮してほしい。
4.通学	80代	男	車社会で通学路も大変危険な箇所が多いので、通学しやすい道路改革をと思っています。例えば横断歩道、歩行者優先の信号機等。
4.通学	70代	男	・学校→近隣との統合はできるだけしない ・通学距離・時間→児童・生徒に負担がかからない様にする ・地域との連携・交流→身近に地域(地元)と接することができる

【問9】子どもたちに最適な教育環境を提供するための、学校の規模や配置について、ご意見があればお聞かせください。

分類	性別	年代	内容
4.通学	50代	女	小学校は、子どもが自分の足で歩いて行ける距離に作るのが基本と思いますが、あまりにも少人数の学校よりも、ある程度の人数がいる方が、いろいろとメリットも多いと思うので、スクールバスや場合によっては保護者の送迎も考えないといけないかなと思ってます。
4.通学	70代	男	配置の見直しを図る場合は、子どもたちの登下校の安心安全を十分検討し、スクールバス等の活用を検討し、子を持つ親の気持ちを考慮する必要がある。
4.通学	40代	女	男女の性別に関係なく、不審者に遭遇したり、何らかの被害にあったり、事故に巻き込まれたりする可能性があるので、通学路や通学にかかる時間に配慮する必要があると思う。 また、いじめ等にあった時に回避する手段が思い浮かばなかったりするので（世界が狭い）、クラス替えや様々な人と接する機会を増やし、多様な考え方ができるようになると良いと思う。
4.通学	50代	女	小規模校の統合は、通学距離が遠くなることが問題だと思う。どういう通学手段が可能なのかを知りたい。
4.通学	70代	男	学校が統合されると、通学時間、通学距離が長くなるので、生徒たちのクラブ活動等に使える時間が少なくなり、最適な教育環境を提供することが難しい。また、児童数が多い地域との教育環境の格差が広がる。
4.通学	60代	女	特に低学年の子どもたちが遠距離通学するのには大変だろうなと思いますが、体が鍛えられるという利点もあり複雑です。子どもたちが元気に楽しく通えて、いじめ等のない学校生活をおくれたら良いと願うばかりです。

【問9】子どもたちに最適な教育環境を提供するための、学校の規模や配置について、ご意見があればお聞かせください。

分類	性別	年代	内容
4.通学	50代	男	市街部の交通事情は、過去最悪な状況にある。コンパクトシティの推進により、市街部の人口密度上昇に道路整備がまったく追いつかず、今後も改善が見込めないうちは、徒歩で登下校する子どもたちや自転車通学する学生が、幹線道路を横断したり狭い道を通らずにすむ学校配置へ早急に変更する必要がある。 学校から近い生徒を除き、集団登校や自転車通学など、個別に移動するのではなく、スクールバスによる安全を確保した移動手段も検討したい。 統合から外れた学校は、郷土学習など義務教育の枠組みにとらわれないイベントや活動の拠点とする。
4.通学	50代	男	バス通学を考えても良いかと。
4.通学	70代	女	移住推進など、過疎地に住民を増やす施策には賛成ですが、それらのニュースに接する度に、子どもたちの通学のことが心配になります。具体案は浮かびませんが、それも併せ持って、初めて「いらっしゃい」と言えるのではないのでしょうか。
4.通学	70代	女	通学距離が極端に長くない方がよい。通学途中、危険に遭遇しないような環境にしたい。子どもたちの持っている素質や個性を一定の型にはめ込まないで、個々のいい所を伸び伸びと大きく成長させることができる教育環境にしてほしい。
4.通学	40代	男	問題点を把握しているわけではないのですが、学校の規模や配置を継続するために、通学が大変な児童・生徒がいるようでしたら、専用にバス等の公共交通機関を充実させてほしいと思います。遠隔授業は、まだまだ問題点が多いと思います。よろしくお願いいたします。
4.通学	50代	男	たとえ学校規模が縮小し、それによって経費がかさむとしても、通学距離や時間の負担を最小限にしていきたい。
4.通学	50代	女	通学距離が遠くならないようにしてほしい。通学路の安全（交通事故、不審者対策など）も考慮して。
4.通学	30代	女	色々な学校と交流、または通学できるようにするため、交通機関を整備したり、学校間留学のような制度をつくってほしい。

【問9】子どもたちに最適な教育環境を提供するための、学校の規模や配置について、ご意見があればお聞かせください。

分類	性別	年代	内容
4.通学	80代	男	小学校の遠距離通学では、専用バスも必要。
5.教員・教育	70代	男	教員の定数を増やし、生徒への対応がしっかりできるようにすることを希望する。
5.教員・教育	60代	女	教員配置の見直し、児童生徒の安心安全の確保。一人一人の発達に応じて、個別な対応ができる体制をつくられたい。社会性を養う為にも集団的な教育が望まれる。
5.教員・教育	70代	男	一人の先生が見られる子どもの数はその年齢によって違うと思う。「コミュニティースクール」の意義を再確認する。
5.教員・教育	60代	女	子ども1人1人と向きあえる先生を望む。大規模校だと、どこかしら落ちこぼれる子が出てくるのではないか。先生の目が届かない状態がないようにしてほしい。
5.教員・教育	30代	男	学校の規模に関して、子どもたちに対し、手厚い教育や多様な教え方をする場合、指導する側の体制を整える必要があることが考えられると同時に、先生方の負担、例えば、部活動や日々の教育のための授業準備に対する割合が多く見られます。 こうした背景から、子どもたちが自発的に学べる場を提供しつつ、先生方の負担軽減に取り組むことが大切であると考えられます。 また、配置についてですが、新川周辺地区は児童数が少なくなっているのに比べ、厚南地区は人口増に伴い、児童数は増えていると思われますので、児童数に合わせた柔軟な配置計画が必要であると思われます。
5.教員・教育	50代	女	教育環境を整えるうえで、地域との連携は外せないと思う。ただ、家庭においては学校の設備面・通学路の安全面を重視する声を多く聞く。小規模校の対策として統合を検討しても、時間ばかり要して解決に至らない。課題は多いのだから、1つの方法・手段でなく、多方面からたくさんの意見・助言を求めるべきだと思う。未来の話を展開できるような話し合いの場をつくってほしい。少しくらい、突拍子もないプランや夢のあるプランがあってもいいと思う。そこから導き出していけると道筋が広がる。
5.教員・教育	70代	女	大人の作り上げた枠の中に画一的に入れるのではなく、個々のいい所を伸ばすことができるような学校になってほしい。

【問9】子どもたちに最適な教育環境を提供するための、学校の規模や配置について、ご意見があればお聞かせください。

分類	性別	年代	内容
5.教員・教育	40代	女	1人1人を大切にしてくれる環境と先生が大事。
5.教員・教育	60代	男	教育関係者には知られているように、先進国における日本の教育環境は最低である。日本の小中学校の規模、配置を考えると、日本の文部科学省の基準から考えるのではなく、子どもたちの発達においてどのような環境が大切なのかという「発達的な観点」から環境を検討すべきだと思う。そのためには、他の先進国の教育環境から学ぶべきだと考えている。
5.教員・教育	50代	女	規模や配置より、教育の質や内容が心配。
5.教員・教育	70代	男	現在の学校環境は、先生への負担が大きすぎて、教育及び生徒への学習環境が行き届かないような気がする。先生に対する生徒数の見直しやクラブ活動への負担を軽減する必要があるのではないか？
5.教員・教育	70代	男	最適な教育環境は、まだ誰にもわからないのでは？結論は時期尚早と思う。とにかく最適と思ったことは実践してから。
5.教員・教育	50代	女	様々な理由で困難を抱えている子どもが増えている。教職員不足も問題で、子どもたちに細かな対応ができないこともあると思う。
5.教員・教育	70代	女	中学校では、より多くの考えや多用な体験ができるような規模に。小学校では、一人一人が大切に育てられるような規模で。
5.教員・教育	70代	女	子どもの数が減ったとはいえ、大規模校は存在する。子どもを主体に考えれば、平等な教育環境が整えられているとは思えない。公立である以上、その差を少しでも減らす視点で考える必要がある。
5.教員・教育	70代	女	最近はいじめの問題が表面化しにくく、隠れた場所において行われていることが多いと聞きます。教師の前・親の前・友達・全てを考えて、ターゲットを決めているようです。子どもたちの表面でなく、心の奥にあるものを見つけて導く教育環境を考えていただきたいと思います。

【問9】子どもたちに最適な教育環境を提供するための、学校の規模や配置について、ご意見があればお聞かせください。

分類	性別	年代	内容
5.教員・教育	50代	男	環境という観点では、多人数の中に埋もれさせ、選択や交流に自由度があること。一方で、きめ細やかな小集団での活動を編成し、一人一人の居場所、活躍や交流の機会、それらを自由に選択できるための母集団の規模が必要。それは異年齢、外部や他校との連携でも良い。朝の隣近所同士の通学と学校行事を通じた世界中の友達との切磋琢磨が繋がっている日常、ローカルとグローバルの両立を目指せるなら規模には拘らなくても良いと思う。あくまでも子どもの将来に向けたデザインであり、管理側の都合は度外視した。加えて、学校や教育という大切なシステムを視野狭く囲い込まず、地域資源や関係者が総動員される仕組みにしたら持続可能性ある活動となる。
5.教員・教育	60代	男	以前に比べれば、個への配慮を必要とする子どもが増えていて、集団として指導することが難しくなっている。親としては、集団の中で育てられることで生きる力がつくと思っているようだが、それほど個は集団の中で耐えて強く生きられるかどうか、集団を成長に生かせるかは疑問である。教育は、できれば家庭教師のような個別指導が望ましいが、これに近い少人数学級を実現しようとすれば、教師の質と量を確保しなければならない。財政的にも難しいのが現実である。地方の小さな学校が閉鎖されることが多いが、コミスクを進めることとは矛盾しているのではないだろうか。地方ほど地域との結びつきは強いのである。
5.教員・教育	60代	女	教育者の負担を分散する為にも教育者を増やす。
5.教員・教育	40代	女	IT、zoomなどを活用した他校との合同授業。
5.教員・教育	40代	女	今の担任の先生が怒ると怖いようで、ピリピリした学校生活です。怒ることも必要ですが、伝えて分かることは言葉で教えてほしいと思います。
5.教員・教育	40代	女	指導者の質の向上。
5.教員・教育	60代	男	コーチングの知恵、人間関係の知恵を教育に活かすことを検討する必要があるのではないのでしょうか？
5.教員・教育	50代	女	地域の学校によって、勉強のレベルが違うようにみえます。

【問9】子どもたちに最適な教育環境を提供するための、学校の規模や配置について、ご意見があればお聞かせください。

分類	性別	年代	内容
5.教員・教育	80代	男	1 小中一貫教育はITの導入・英語教育の変遷など教育環境の急激な変化に対応すべく教育体制の再編成が急務。 2 宇部市のいびつな学校配置、小中一貫を機に将来を見据えた思い切った対策と英断が必要とされる。 3 宇部市のコミスクについて、児童生徒のイベントなどへの参画は地域貢献活動などの成果として評価されるが、コミスクの原点・最終目的である「結果としての学力・学習状態のアップ」は全市的に成果が認められない。 4 学校運営協議会活動に加えて地域コーディネーターの組織が立ち上がっているようですが、分担デリトリーや職務分担内容が分からない。まして、その成果が見えてこない。
5.教員・教育	50代	男	英語教育に力を入れてほしい。
5.教員・教育	50代	男	教師の仕事が、多様化多量化している。中学校の部活の民営化もおかしい話だと思います。もっと教師の仕事内容を見直し、自分の学校の生徒は責任持って対応するシステムの構築が必要だと思います。高校の部活は、民営化の考えはないのでしょうか？
5.教員・教育	60代	男	1クラス最低30人以上の規模にして、多様な友人と接する機会を持たせる。
5.教員・教育	30代	男	ICT化が進んでいて良いことだと思う。一方で、対面のコミュニケーションも重要なので、どちらかに偏らずバランス調整が必要だと思う。
5.教員・教育	30代	女	35人のクラスを続けるなら、小学校は一つのクラスに一人の先生ではなく、二人体制とかでも良いのではないかと思います。
5.教員・教育	30代	男	本物のアクティブラーニングの実践。ミライの学校(文科省推奨映画)。南アルプスこどもの村学校を参考に、小野小学校をモデルケースで実践すれば過疎地域の人口も増えるのではないのでしょうか
5.教員・教育	40代	女	一クラスが多いと先生の負担が大きくなるのでは？昔と違い今はモンスターが多いような気がする。
6.その他	40代	女	交流がない。

【問9】子どもたちに最適な教育環境を提供するための、学校の規模や配置について、ご意見があればお聞かせください。

分類	性別	年代	内容
6.その他	70代	男	世界209カ国が署名したゲサラ法に、日本も署名しています(安倍元総理の時)。ゲサラ法が施行されれば、税法や通信などが大きく変化し、ゆとりが生まれます。Q Phone=量子電話機が無償で配布され、通信料もかからないことが決まっています。特にUBI (ユニバーサル・ベーシック・インカム)が導入されれば、世界中のすべての人が経済的に豊かになります。米国のいくつかの州では既に導入され、一人当たり日本円で毎月23万円ほどが、生涯支給されます。日本でも、秋までには具体的な話が決まると思います。若い人も結婚や子育てがしやすくなり、少子化や人口減少の問題も確実に改善が見込まれます。
6.その他	60代	男	1. 家庭内で、人としてのあり方や躰など、大人として必要なことが教えられていないと思われる子どもさんが多くなっているようなので、やむを得ず学校教育に人としてのあり方や躰などが、身につく教育（実習等）を組み込んだり、地域の大人との連携強化によって、子どもの心を育てることに取り組んでいただきたい。 2. 学習意欲の高い子どもたちの更なるレベルアップのフォローとして、公共施設（ふれあいセンター他）での自習ができるようにしていただきたい。なお、自習の際は、近くに大人がいて、時には質問に答えられることができればベストです。
6.その他	70代	男	行政、父兄などの都合から、子どもたちが伸び伸びとしていない。いろんな制限、規制が多いのではないのでしょうか？
6.その他	50代	女	机をサークル状にする。